**書き方の宝箱　資料　　月　　日（　　）　　年　　組　　番　名前**

**○　目　的　○**

**かっこいい文章を書こう。文章づくりを好きになろう。**

**☆　書き出しの工夫　☆**

　　例：読んだ本『　桃　太　郎　』

①**感じたこと、自分が伝えたいことの中心を会話で表現する。**

　　　　→　「仲間の絆。それは、この村の歴史を変えた。」

　　　　→　「きびだんこがつないだ村人の平和。桃太郎は私の英雄です。」

②　**印象に残った場面の音で表現する。**

　　　　→　「パカーン！おんぎゃあ・・。」（桃が割れた音）

③　**ことわざ、慣用句、格言、四字熟語を引用する。**

　　　　→　「栄枯盛衰」「三本の矢」「勧善懲悪」「一致団結」「正義は必ず勝つ。」

④　**一番、印象に残った場面を抜き出す、まとめる。**

　　　　→　「待っていてください。村のみんな。鬼たち。」

⑤　**物語の情景を思い出せるような表現。**

　　　　→　ある山のふもとの村。ある老夫婦は、いつものように仕事に精を出していた。

**☆**事実や引用した内容に対しての**感想で使いたい表現**

　　例：読んだ本『　桃　太　郎　』

①**比喩・・別の言葉で例えて、そのものを表現する。**

　　　　→　心の底からわき上がる喜びを感じました。

　　　　→　桃太郎たちの仲間を信じる気持ちは私たちの宝物です。

②**反復・・同じ言葉をわざと繰り返して、印象を強める。**

　　　　→　仲間を信頼すること。信頼によって生まれた絆。信頼から生まれた平和

　　　　→　私は自分に甘えてしまう気持ち、それは心の鬼、鬼、鬼がたくさんいます。

③**省略・・短い言葉でまとめて印象を強める。**

　　　　→　きびだんご一つ。それだけで仲間。素晴らしい友情。

　　　　→　桃太郎。それは、幼い頃に出会った本。

④**問いかけ・・質問を繰り返して、印象を強める。**

→　桃太郎たちはどうして、鬼たちに勝てたのだろう。

　　　　→　きびだんご、一体どんな気持ちでおばあさんは持たせたのだろう。

　☆　他にもあります。色んな技法。

　　・擬声語　　・擬態語

　　・ユーモア　・省略

　　・倒置　　　・対句